

令和8年3月31日

令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学校名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立鹿島小学校（外 10校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等
鹿嶋市立鹿島小学校	http://www.sopia.or.jp/kasyo/wp/wp-content/uploads/2022/04/20220414_2021年度特別の教育課程の実施状況等について.pdf	http://www.sopia.or.jp/kasyo/wp/wp-content/uploads/2022/04/20220414_2021年度特別の教育課程の実施状況等について.pdf

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2021年には東京オリンピックサッカー競技が開

催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「Colorful Stage KASHIMA～ひとあざやかに ひとつのまちに～」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

(3) 特例の適用開始日

2007年4月

2018年4月 変更

(4) 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ⊙計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

なし。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ⊙実施している
- ・実施していない

<特記事項>

(1) 第1学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
80.9%	18.1%	0%	1.1%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
84.0%	13.8%	2.1%	0%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
89.4%	6.4%	3.2%	1.1%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという と知りたい	どちらかという と知りたくない	知らなくてよい
84.0%	9.6%	3.2%	3.2%

(2) 第2学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
89.1%	8.7%	2.2%	0%

② ALT と英語で話したり活動したりするのは楽しいですか。			
楽しい	どちらかという と楽しい	どちらかという と楽しくない	楽しくない
78.3%	17.4%	3.3%	1.1%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになり たい	どちらかという と話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
88.0%	7.6%	4.3%	0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという と知りたい	どちらかという と知りたくない	知らなくてよい
84.8%	10.9%	2.2%	2.2%

(3) 教職員による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
95.8%	4.2%	0%	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
100%	0%	0%	0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
91.7%	8.3%	0%	0%

④ 今後も、市による英語(外国語活動)の取組を続けてほしいですか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
100%	0%	0%	0%

(4) 保護者による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
56.9%	35.3%	7.2%	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
67.3%	25.5%	5.9%	1.3%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
52.3%	32.0%	11.8%	3.9%

④ 今後も、市による英語(外国語活動)の取組を続けてほしいですか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
86.3%	10.5%	1.3%	2.0%

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

- ・英語やジェスチャーで ALT や友達とやり取りする活動を通して、コミュニケーションへの前向きな態度が育つ。
- ・名前や好きなものなどを英語やジェスチャーで表現する活動を通して、自己表現力が育まれる。
- ・授業中だけでなく、普段の場面でも英語であいさつをしたり、ALT と簡単な英語での会話を楽しんだりする姿が見られる。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

昨年度の課題は「聞くこと」であった。その手立てとして、授業中の教師や ALT の英語の発話量を増やすとともに、少し長めの英語を聞く機会を設け、分からない内容に直面した際の対応テクニックについても指導を行った。

その結果、各単元の聞き取りテストの平均点は 90 点を超え、英検 ESG のリスニングにおいても、昨年度の平均点を 8 ポイント上回る結果となり、聞く力の向上が見られた。

また、各単元でのパフォーマンステストの実施や、音と文字のルールを取り入れた読み書き指導などを通して、児童が英語を用いてやり取りしたり、自分の考えを表現したりする機会の充実を図ってきた。

その結果、既習表現を用いて伝えようとする姿や、友達と関わりながら学習に取り組む姿が見られるようになってきた。

今後も 4 技能をバランスよく育成することを課題として、指導の充実を図っていきたい。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4 技能を関連付けた言語活動を充実させ、既習表現を活用したやり取りや、自分の考えを伝える活動を積極的に取り入れていく。また、音と文字の関係を意識した読み書き指導や、まとまりのある英語を聞く活動を継続し、児童の英語によるコミュニケーション力の向上を図っていく。

